



<https://tkenbi-ouendan.jp/>

<発行> とっとり県美応援団

「日本一の県立美術館に！」

とっとり県美応援団 団長 佐伯健二

「敷地内の草取りでもいい。何か役立ちたい」一。

長年凍結になっていた県立美術館が動き出し、建設場所が決まった時の感激と決意は、今も忘れてはけません。建設場所は、鳥取県で一番人口が少ない中部地区。地方創生の今の時代、小さな鳥取県が全国の中で気を吐いているように、ここはまず地元住民が真っ先に立ち上がる時だと思ったのです。

あれから5年。待望の県立美術館は2025（令和7）年春オープンに向け、倉吉の地で力強く建設のツチ音を響かせています。

全国的には後発ですが、私たちは日本一の県立美術館になることを願って応援活動を続けています。

来館者の案内や館内清掃、広報誌の発送作業など、できる人が、できる時に、できる事をやって、たくさんの笑顔でにぎわう県立美術館にしましょう。



令和4年度 最近の主な活動をご紹介します

2022年4月17日 会員総会・講演会・チーム研修会
講演「県立美術館の運営と地域連携」



美術館パートナーズ統括マネージャーの赤尾靖枝氏をお迎えし、県立美術館開館後の取組である県内小学4年生向けの「対話型鑑賞活動」や他施設での運営事例と地域連携を学びました。

2022年5月29日

「美術館とは何か」連続セミナー第1回
講師 尾崎 信一郎氏（美術館整備局 美術振興監）

基本的な問題に焦点を絞り、美術館の成立と展開、コレクションや展覧会、そして今日直面する課題などについて学芸的な立場から3回にわたって開催。第1回目として「美術館の機能（コレクション・展示・調査研究・教育普及）」や「美術館のタイプ（コレクション型と展覧会型）」の解説に加え、鳥取県立美術館常設展の展示計画や核になる作品などを紹介いただきました。

2022年6月18日 みんなで進もう!!
「対話型鑑賞」ファシリテーターへの道
(来館者対応チーム研修会)

対話型鑑賞のファシリテーターとなるためにその役割、活動の作り方、鑑賞活動模擬体験の研修を行いました。鑑賞活動を体験した子ども達が「美術館にもう一度来たい!」と思ってくれる出会いの場にしたい、といった参加者の思いが感じられました。

2022年6月22日 講演会&座談会（環境チーム）
「大御堂廃寺とこの地域の学びを深めるために」
講師 根鈴智津子氏

大御堂廃寺について、また美術館の開館に合わせての整備計画の内容について座談会での質疑応答も含めて理解を深め、今の地域からは想像できない当時の状況がリアルに浮かび上がりました。

参加者からは倉吉に長く住んでいるが初めて学んだことが多かった、ひとつの遺跡でたくさんの歴史を推測できることを知った等の感想がありました。

「玉ねぎの皮で染めちゃおう！食品で染色体験」に多くの会員がボランティアで参加

6月25～26日 倉吉市の大御堂廃寺跡「中部発！食のみやこフェスティバル」

鳥取県立博物館・美術館整備局のコラボ企画玉ねぎの皮による染色体験コーナーに当援団の多くの会員がボランティアで参加、講師の古澤順子先生のご指導にて、家族連れなど連日150人を超える参加者に楽しく和やかに体験していただきました。

鮮やかな黄色に染まったハンカチに、輪ゴムで絞って出来た様々な絞り模様が浮かび上がり、どれもが青空に映えてとてもきれいでした。



鳥取県立美術館の開館後に「県民が主役になって活躍できる美術館」となるよう、とっとり県美応援団では、わたしたち鳥取県民が美術館に希望すること」を深く考え「声を届ける」とし、昨年末に応援団の会員を対象に9問のアンケートを実施しました。とっとり県美応援団のホームページでその結果を公開しています。

大人も子供も一緒に楽しめる、そしてあらゆる年齢の全ての人々に開かれたバリアフリーな憩いの場になってほしいといった願いが込められているとともに、気軽に何度でも訪れたいような、そして新たな発見や体験ができるワクワク感いっぱいの魅力ある美術館と一緒に作り上げていきたいという願いが伝わってきました。

新しい美術館への期待や盛り上げるためのアイデアなどのこのアンケート結果は、今後の美術館開館に向けた準備において参考としていただけるよう、2022年4月24日に鳥取県教育委員会事務局 美術館整備局及び鳥取県地域づくり推進部 文化政策課にご報告させていただきました。

【スマートフォン利用の方へ】
アンケート結果は
こちらから→
(HPへリンクします)



美術館整備局・パートナーズとの意見交換会を開催 (8月7日 倉吉市上灘コミュニティセンター)



とっとり県美応援団は、鳥取県教育委員会美術館整備局および運営事業者である鳥取県立美術館パートナーズ株式会社の方々と、県立美術館1階にできる「ひろま」の活用について意見交換を行いました。

新しい美術館の特徴の1つであるひろまの概要をお聞きし、出席した応援団の会員からは、その広い空間を鑑賞の合間の居心地の良い場所にするような様々な要望が相次ぎました。

また、想定されているボランティアの活動や友の会の内容など、県民参画に関する意見や要望のほか、今後の収蔵品収集の方針についての質疑などもあり、充実した意見交換会となりました。



提供：橋総合計画事務所 イメージ制作：ウィックViccc Ltd.

多様な利用ができる開放的な「ひろま」

お知らせ

10月23日(日) 秋のパワーアップ研修会 (岡山 大原美術館ほか)

応援団の会員が美術作品に触れ学ぶ機会として、恒例の視察研修(パワーアップ研修会)を行います。

今回は募集25名で、世界的に有名な西洋画をはじめ幅広いジャンルの作品を収蔵する大原美術館を中心とした日帰りツアーを企画しています(お問い合わせは下記まで)。

【主な行程(予定)】

- 8時 倉吉発 (大型バス1台)
- 10時 高羽市成羽美術館
(児島虎次郎コレクションと安藤忠雄建築)
- 12時 倉敷国際ホテルでのランチ
- 13時 大原美術館、有隣荘(大原家旧別荘)
- 18時半 倉吉着

とっとり県美応援団 入会のご案内

一緒に楽しみながら美術館開館を応援してくださる仲間を募集しています。

<活動内容>

(全体) パワーアップ研修会・講演会への参加 (チーム活動)

- 広報：ホームページ作成・広報紙発行
- 来館者対応：鑑賞活動支援・展示解説・ワークショップ支援など
- 環境：周辺環境美化活動への協力・館内案内協力
- 後方支援：県民の関心を高める取組み・PFI事業者等との連携など

<年会費>

個人会員：1,000円 法人会員：2,000円

とっとり県美応援団
ご支援のお願い

あなたの寄付で鳥取県をもっと元気にしませんか？ とっとり県美応援団が、県のふるさと納税で支援できる団体に登録されました。

今秋9月から寄付募集が始まりますので、ぜひご支援ください！

(鳥取県 持続可能な地域づくり団体支援寄附金)



「とっとり県美応援団」ニュースレター 「び〜さぽ」

- ① Be Supporters! (応援団になって！) と
- ② 私たち応援団員=けんび・サポーター 2つの意味があります

<発行者>

第2号 2022年9月1日 発行

とっとり県美応援団 <https://tkenbi-ouendan.jp/>

お問い合わせ・入会申込みは tottoriartoendan@gmail.com